

令和7年度（2025年度） 港区健康診査・がん検診等のご案内

FY2025: Instructions for Minato City health checkups/cancer screenings

2025 년도 미나토구 건강검진・암 검진 안내

2025 年度 港区健康検査・癌症検査指南

無料健診（検診）のご案内です！

受診期間

健康診査：令和7年7月1日～令和7年11月30日

各種がん検診：令和7年7月1日～令和8年1月31日

※乳がん検診のみ令和8年2月28日まで

その他の検診（検査）（骨粗しょう症検診・肝炎ウイルス検診・聴力検査）

：令和7年7月1日～令和8年1月31日

※肝炎ウイルス検診は一部、通年実施している医療機関もございます。

●健康診査と各種がん検診の受診券がある方

- ・港区国民健康保険加入の方（令和7年4月1日までに加入済）（40歳～75歳未満）
⇒特定健康診査 2ページ～
- ・港区国民健康保険加入の方（令和7年4月2日以降の加入）（40歳～75歳未満）
⇒基本健康診査 2ページ～
- ・港区後期高齢者医療制度加入の方
⇒基本健康診査 2ページ～
- ・それ以外の方（40歳以上）
⇒基本健康診査 2ページ～

●各種がん検診の受診券のみの方

⇒ 6ページ～

●その他の検診（検査）（骨粗しょう症検診・肝炎ウイルス検診・聴力検査） の受診券がある方

⇒ 11ページ～

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

健康診査

がん検診

その他検診（検査）

港区で実施している
健診（検診）一覧

健康診査について

受診期間：令和7年7月1日～令和7年11月30日

特定健康診査とは

メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防・改善に着目した健康診査です。効果的な生活習慣病予防のために役立てることを目的としています。特定健康診査の結果、生活習慣病の改善が必要な方は特定保健指導を実施します。

- ・**特定保健指導**…特定健康診査を受診した結果、生活習慣病の危険因子が見つかった方には、個別に国保年金課の委託する業者より保健指導の通知を送ります。メタボリックシンドロームの解消に向けて目標を設定し、行動を継続できるように、保健師・管理栄養士がサポートします。費用は無料ですので、積極的に活用してください。
- ・**微量アルブミン尿検査**…対象者のみに受診券が送付されています。対象者は、令和6年度の特定健康診査でヘモグロビンA1c値6.5%以上かつ尿蛋白マイナス（－）またはプラスマイナス（±）の方です。

基本健康診査とは

生活習慣病の早期発見・早期治療を目的として、区民の健康管理に役立てることを目的とします。健診の結果、心配なことがあればみなと保健所で実施している健康相談や健康講座等をご利用ください。

	特定健康診査	基本健康診査
対象者	・令和7年4月1日までに港区国民健康保険に加入している40歳～75歳未満の方	・令和7年4月2日以降に港区国民健康保険に加入した40歳～75歳未満の方 ・港区後期高齢者医療制度に加入している方 ・生活保護を受けているなど、受診券が届いている方
受診期間	令和7年7月1日～令和7年11月30日	
内容	問診・身体計測（腹囲を含む）・診察・血圧測定・尿検査・血液検査（血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査等） その他医師の判断で貧血検査・心電図・眼底検査・胸部エックス線検査等を行います。 ※眼底検査は高血圧・糖尿病・脂質異常症といった生活習慣病の進行状態を調べる眼圧検査です。	

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

微量アルブミン尿検査

尿中に含まれている微量なたんぱく質（アルブミン）の量を測定し、腎臓の障害を早期に発見する検査です。通常の尿検査では検査できない項目です。

血糖値が高いとなぜ腎臓に影響があるの？

腎臓は、血液をろ過し、老廃物を尿として体外に出し、たんぱく質など必要な成分を体内に戻しています。腎臓には、細い血管が集まっており、血糖値が高い状態が続くと血液中で増えたブドウ糖が細い血管を傷つけ、たんぱく質が尿中に排出されます。微量アルブミン尿検査は、初期の段階から腎臓の異常を発見することができるため、糖尿病性腎症などの早期発見が可能です。腎機能が悪化すると、人工透析などの治療が必要となり、生活や生命に大きな影響が出ます。

糖尿病性腎症は、心筋梗塞や脳卒中のリスクにつながります。
自覚症状がないからと言って、高血糖状態を絶対に放置しないでください。

『微量アルブミン尿検査』の結果の見方

尿中アルブミン (mg/gCr)	30 未満	30～299	300 以上
	正常アルブミン尿	微量アルブミン尿	顕性アルブミン尿
自覚症状	なし	なし	● 手足のむくみ ● 疲れやすさなど
		軽～中等度腎障害	高度腎障害
		必ず専門医療機関の受診が必要です！	
検査結果と 対応	毎年健康診査を受け、血糖値を下げるなど、健康な状態を維持するための生活習慣を心がけましょう。基礎疾患がある方は治療を継続しましょう。	必要に応じた治療と保健指導を受けましょう！ 今なら腎障害の悪化を止めることができます。	早急に治療が必要です！ 適切な治療を受ければ腎障害の悪化のスピードを緩めることができます。



港区に7か所ある腎臓専門医療機関で精密検査を受け、糖尿病性腎症のリスクがあると診断された方に、港区は『糖尿病性腎症重症化予防事業』を行っています。

微量アルブミン尿検査をきっかけに、腎機能について興味を持ち、保健指導に参加して生活改善に取り組んでいる方もいます。



生活機能評価（65歳以上の方）

生活機能評価は、基本チェックリスト結果と健康診査結果から、医師が生活機能全般をチェックし、介護予防が必要かどうか判断します。健康診査を受診した医療機関で一緒に受診します。

※対象者には、受診券に印字がされています。

対象	健康診査を受診した65歳以上の方（昭和36年3月31日までに生まれた方） ※介護保険の要介護・要支援の認定を受けていない方
内容	・日常生活に関する25項目の質問 ・問診・視触診・血液検査等 ※お口の衛生状態や関節の状態を診察します。
方法	健康診査を受診した医療機関で、「港区生活機能評価受診票」の基本チェックリスト解答欄に○を記入します。回答の数字を足して点数を評価します。 <点数の付け方> 「1. はい」or「1. いいえ」の数字が点数です。 ○をつけた箇所の数字を足して点数をつけてください。 <No.12 BMIとは> BMI（Body Mass Index）体格指数 = 「体重Kg」÷「身長m」÷「身長m」 判定基準 25以上：肥満 18.5～24.9（基準22）：普通 18.5未満：低体重

生活機能評価の結果、介護予防のプログラムに参加した方が良いと判定を受けた方は、最寄りの高齢者相談センターに健康診査受診票と生活機能評価受診票を持ってお出かけください。

生活機能評価で介護予防の必要な方の結果については、高齢者相談センターへ送付されます。
上記以外に受診された方の個人情報が第三者に利用されることはありません。



介護予防

介護予防とは、生活機能全体の向上を通じて、いつまでも自分らしく元気でいきいきとした生活をおくることができるよう、からだの機能を維持・改善し、要介護状態になることをできる限り防ぎ、自立した生活を送れるようにすることです。運動機能の向上、栄養改善、口腔機能の向上、認知症予防、閉じこもり予防等に役立つ、いろいろなプログラムがあります。詳しくは、高齢者相談センターやいきいきプラザ等でお配りしている「みんなと介護予防」をご覧ください。



高齢者相談センター（地域包括支援センター）

高齢者相談センターは、区民の皆様が住み慣れたまちで安心して暮らしていくために必要な援助や支援をする地域の総合窓口です。主任ケアマネージャー、社会福祉士、保健師等が中心となって、高齢者の支援を行っています。どうぞ、お気軽にご相談ください。



【生活機能評価に関するお問い合わせ】

港区高齢者支援課 介護予防推進係 ☎3578-2934

認知症セルフチェックシート健診

50歳以上の方は認知症セルフチェックシート健診が受けられます。

認知症は誰もがなる可能性があります。認知症は高齢者に多いですが、65歳未満で発症する「若年性認知症」もあります。

認知症になっても安心して住み慣れた場所で暮らし続けるためには、早期発見・早期治療が大切です。

港区医師会では、港区健康診査・がん検診を受ける50歳以上の区民を対象に、「認知症セルフチェックシート健診」を実施しています。

費用 無料 ※健診後の精査・診断・治療にかかる費用は自己負担となります。

期間 令和7年7月1日～令和8年1月31日

対象者 ・50歳以上の区民（令和7年度末時点）
・健診結果を港区高齢者支援課及び港区高齢者相談センターへ情報提供することに同意いただける方

受診の流れ 港区健康診査・がん検診を受診する際に、「認知症セルフチェックシート健診受診希望」とお伝えください。

実施医療機関 港区医師会のホームページをご覧ください。

健診の結果は同意の上で区と共有し、支援が必要な方や支援を希望された方に対して認知症支援コーディネーターが電話や訪問で個別支援を行います。

港区の認知症関連事業

詳しくは広報みなとや港区ホームページをご覧ください。

認知症予防事業 (脳活教室)

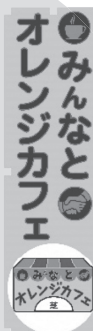
認知症について学び、
認知症予防プログラムを
実施します。

認知機能測定事業

記憶力や注意力などの
認知機能を測定します。

みんなと オレンジカフェ

認知症の方や
その家族、
認知症予防に
関心のある方の
ためのカフェです。



【認知症セルフチェックシート健診に関するお問い合わせ】

港区高齢者支援課 高齢者相談支援係 ☎3578-2407

各種がん検診

受診期間：令和7年7月1日～令和8年1月31日

※乳がん検診のみ令和8年2月28日まで

がん検診について

がん検診は、症状の出る前のがん（早期がん）を発見し、治療することが重要です。そのため、対象者は自覚症状のない方となります。症状がある場合は、検診を受けて結果を待っている状態ではありませんので、お早めに病院での診療・治療をお受けください。また、手術を受けたことのある方については、医師と相談のうえ、検診の有効性が認められる場合に実施してください。

また、がん検診の結果が「精密検査を要す」であった場合は、必ず精密検査を受診してください。ただし、精密検査は、保険診療となります。

がん検診

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

年齢・性別	胃がん		大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん	前立腺がん	喉頭がん
	(エックス線)	(内視鏡)						
40歳代女性	●		●	●	▲	▲		
40歳代男性	●		●	●				
50歳以上の偶数年齢女性	●	● どちらか一方を選択	●	●	▲	▲		■
50歳以上の偶数年齢男性	●	● どちらか一方を選択	●	●				■
50歳以上の奇数年齢女性	●		●	●	▲	▲		■
51歳・53歳男性	●		●	●				■
55・57・59・61・63・65・67・69・71・73・75歳男性	●		●	●			●	■
77歳以上の奇数年齢男性	●		●	●				■

●：対象。受診券送付済み

▲：前年度未受診者のみ対象

■：喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）600以上の方のみ対象。50歳以上は受診券送付済み

メリット・デメリット

がん検診にはメリットとデメリットがあります。以下の内容をご理解のうえ、検診を受けてください。

メリット

・早期発見できる

がん検診は自覚症状がない時点で行われることから、進行していない早期がんを発見できる可能性があります。早期であれば治せることが多く、がんによる死亡率を低下させ、救命できる効果を期待できます。また、治療も軽く済むことが多いので、身体的負担・経済的負担は一般的に少なく済みます。

・“前がん病変”を見つけることもできる

がん検診では早期がんを見つけるばかりではなく、“前がん病変”（がんになる前段階の病変）が見つかることもあります。具体的には、大腸がん検診で診断される「大腸ポリープ（大腸腺腫）」や子宮頸がん検診で検出される「異型上皮」などです。このような“前がん病変”が発見された場合は、経過観察をしたり、必要に応じて治療したりすることで、がんへの進行を防ぐことができます。

デメリット

・負担とリスク

がん検診では、検査によって身体に負担がかかってしまうことがあります。例えば、エックス線検査では放射線を被爆するという問題があります。また、胃がん検診で使うバリウムにより便秘になることがあります。極めて稀ですが、胃がん内視鏡検査では、出血・胃に穴をあけてしまうリスクもゼロではありません。

・偽陰性：がんであっても「異常なし」と診断されてしまう可能性

がんがあっても、「異常なし」と診断し、がんを見逃してしまうことがあります。がんが見つかりにくい場所にあたり、極めて小さかったりすると、がんを発見できないことがあります。ただし、1回のがん検診で見つけることが出来なくても、定期的に検診を受けることにより発見率は高まり、がんによる死亡を回避する可能性も高くなります。

・偽陽性：がんがなくても、「がんの疑い」と診断してしまう可能性

「がんの疑い」と診断され、精密検査を行っても、「がんではなかった」と診断されることもあります。精密検査が必要と判定された場合でも、がんと診断される確率は、胃がんが1.50%、最も高い乳がんでも4.15%にすぎません。

・過剰診断：生命に影響しないがんを診断してしまう可能性

検診で見つかるがんには、放置していても進行がんにならなかったり、そのままの状態にとどまったりして生命に影響しないがんもあります。このようながんを発見することを過剰診断といいます。現在は、生命に影響しないがんと、進行して生命を脅かすがんの区別をすることはできません。

胃がん検診

対象者：40歳以上の方

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

- 50歳以上の偶数年齢の方は、エックス線検査と内視鏡検査の**どちらか一方**を選ぶことができます。

• エックス線検査

バリウム（造影剤）を胃粘膜に付着させて撮影し、粘膜の凹凸と形状から診断する方法です。

• 内視鏡検査

□または鼻から柔らかいチューブのようなカメラを挿入し、食道・胃・十二指腸を内腔から観察する方法です。区の検診では、保険診療で行う胃内視鏡検査とは異なり、**鎮痛薬や鎮静薬は使用せず、喉・鼻の麻酔のみで検査を実施します**。胃内視鏡検査のみ、異常がある場合にはその場で病変の一部をつまみ細胞の検査を行うことがあります（生検）。**生検が行われた場合については、区の検診を超えた保険診療となり、別途自己負担費用が発生します**ので、検診当日に健康保険証を必ず持参してください。

• 注意事項

胃がん検診の前日21時以降から検査までの飲食は禁止です。（水は自由に飲むことができます。）胃の中に食べ物が残っていると、検査が実施できませんのでご注意ください。また、内服薬を服用する場合は、検査2時間前までに済ませてください。

胃内視鏡検査を受けられるかどうか、医療機関と確認してください。特にワーファリンなどの抗血栓薬（血液が固まらないようにする薬）を継続して服用していないか、降圧剤などの内服薬に関しても確認が必要です。受診の際には、同意書の内容について説明を受けたうえで署名してください。

大腸がん検診

対象者：40歳以上の方

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

便潜血検査（2日法）という2日間に分けてそれぞれ採便をする検査です。**採便キットは、医療機関に予約時に受け取ってください**。キットの受け取り方や詳しい採便方法につきましては、医療機関へご確認ください。

原則、受診日前日と当日に採便を行ってください。諸事情により2日間の採便が行えなかった場合は必ず医療機関へご相談ください。

肺がん検診

対象者：40歳以上の方

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

胸部エックス線撮影を2方向行う検査です。エックス線（放射線）を使用するため、妊娠中の方は避けてください。

健康診査が対象の方は健康診査と同時に受診することをおすすめします。

喀痰細胞診検査は、50歳以上の喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）600以上の方が対象となります。

乳がん検診

対象者：40歳以上の女性で前年度未受診の方

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

乳房専用のエックス線撮影措置を用いた画像診断法です。左右の乳房を片方ずつはさんで圧迫し、斜め方向と上下から撮影します。乳房を固定している時間は数十秒で、検査時間は実質10分前後となります。乳房の中をはっきりと写すため、乳房を平らに圧迫します。痛みを感じる度合いは、人によって異なりますが、月経前は乳房が張って圧迫すると痛みを強く感じることもあるため、月経前の1週間を避けると痛みが少ないと言われています。また、初めて受診する方は緊張すると思いますが、体の力を抜くと痛みが和らぎますので、より良い画像をとるための医師や撮影技師との共同作業だと考えて、リラックスして受診してください。

なお、シリコン等の乳房形成手術を受けている方は、乳房を圧迫することで挿入物が破れる危険性があるため、医療機関にご相談ください。

※乳がん検診のみ令和8年2月28日まで受診可能です。

※こころとからだの元氣プラザの予約受付は2月中旬で終了します。

ブレスト・アウェアネスについて

乳房を意識する生活習慣のことです。乳がんは、日常の健康管理としてのブレスト・アウェアネスを通じて、しこり（腫瘍）に触れるなどの自覚症状を認めることにより発見される場合があります。ブレスト・アウェアネスの詳細については、こちらのホームページをご確認ください。

(URL) <https://brestcs.org/information/self/>

子宮頸がん検診

対象者：20歳以上の女性で前年度未受診の方

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

子宮頸部（入口）の細胞を専用のブラシ等で採取し、顕微鏡で調べる検査です。月経中は受診できませんので、避けてご予約ください。また、妊娠中の方は医師にご相談ください。

令和6年度から港区子宮頸がん検診は2年に1回（前年度未受診者が対象）に変更されました。それに伴って、子宮頸がん検診受診券の一齐発送対象者が変更になり、前年度（令和6年7月～令和7年1月）未受診者及びHPV検査対象者に発送しています。

喉頭がん検診

対象者：50歳以上の喫煙指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）600以上の方

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

（例：1日20本×30年間＝600）※令和5年度から対象者が変更されています。

頸部触診や関節喉頭鏡、喉頭ファイバースコープなどを使う検査です。

※国が示す科学的根拠に基づいたがん検診ではありません。

前立腺がん検診

対象者：55歳～75歳の奇数年齢の男性

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

血液検査で、血液中の前立腺特異抗原（PSA）の値を調べます。

※国が示す科学的根拠に基づいたがん検診ではありません。

受診券の再発行・申込みについて

受診券の再発行はLoGoフォームまたはお電話にて受診期間内ならいつでも可能です。お電話で申し込みの場合は、必ずご本人様が直接お申込みください。

これまで30歳代を対象としていた区民健康診査の対象を拡大し、16歳から29歳までの方も対象となりました。16歳から29歳までの方で区民健康診査の受診を希望する方は申込みをすることで受診券を発行いたします。

LoGoフォーム



☎：03-6400-0091

その他の検診(検査) (骨粗しょう症検診・肝炎ウイルス検診・聴力検査)

※対象者には、受診券に印字がされています。

受診期間：令和7年7月1日～令和8年1月31日

骨粗しょう症検診

対象者	40・45・50・55・60・65・70歳の女性 ※年齢基準日：令和8年3月31日時点 ※対象年齢で受診されないと、次の年齢まで受診できませんのでご注意ください。			
検査方法	方法	内容	長所	短所
	D X A法	主に手首や腰椎、大腿骨にX線をあてて骨をスキャンして測定します。医療機関によって検査部位が異なります。※	実際に骨折しやすい部位を測定することができ、最も推奨される方法です。	専用の測定機器が必要なため、実施医療機関に限られます。
	MD法	手のX線写真を撮影して測定します。	X線の被爆が少なくスクリーニング検査として用いられます。	低値であった場合はD X A法による精密検査が必要です。

※検査部位によって、測定精度が異なります。詳しくは医療機関にお問い合わせください。

聴力検査

対象者：60・65・70・75歳の方

※年齢基準日：令和8年3月31日時点

港区医師会によると、自覚はないものの聴力に異常がある高齢者が3割程度いることが分かりました。加齢による聴力低下は認知症リスク要因の一つであり、聴力を維持することはいきいきと過ごすために重要です。聴力に異常があると判定された場合は精密検査を受診し、結果に応じてご自身にあった補聴器の購入費を助成する「港区高齢者補聴器購入助成制度」を活用することもできます。

※令和6年度から新たに実施された検査です。

補聴器購入費助成事業のご案内（聴力検査対象者向け）

聴力検査を受け、保険診療で精密検査をした結果、医師が補聴器の装用が必要と認めた人（聴覚障害による身体障害者手帳を持っている人を除く）は、助成事業の対象になります。聴力検査を受けた医療機関で精密検査を受診した場合は、その医療機関に助成事業を申請したい旨をお申し出いただき、申請書（申請書1枚目下部の「医師による確認書」の証明入り）をお受け取りください。

その他助成内容や申請から助成までの詳しいことは、港区ホームページでご確認いただくか、高齢者支援課在宅支援係（☎03-3578-2400～2406）へお問い合わせください。



区ホームページ

肝炎ウイルス検診

・対象者：**過去に港区肝炎ウイルス検診を受けたことのない方**

・検診実施医療機関について

令和7年7月1日～令和8年1月31日：別紙医療機関名簿で肝炎ウイルス検診に●がついている医療機関

令和8年2月以降：通年実施医療機関のみ（次ページ参照）

・肝炎ウイルスとは

肝炎ウイルスに感染すると肝炎になりやすくなります。肝炎は肝硬変・肝がんといった病気につながる可能性があります。肝炎ウイルスのうち、B型肝炎ウイルス（HBV）の感染によるものをB型肝炎、C型肝炎ウイルス（HCV）の感染によるものをC型肝炎と呼びます。感染した血液が体の中に入らない限り、日常生活で感染することはほとんどありません。したがって、毎年繰り返し検査を受けなくても、一生で1回検査を受ければよいとされています。なお、肝炎ウイルス以外の原因による肝炎もありますので、急性肝炎の自覚症状や肝機能異常がある場合は、医師に相談してください。

・港区の肝炎ウイルス検診では、1回の血液検査でB型・C型両方を検査できます。

肝炎ウイルス検診を受けて異常があった場合

C型肝炎ウイルス検査で「**現在、C型肝炎ウイルスに感染している可能性が高い**」または、B型肝炎ウイルス検査で「**陽性**」と結果が出た方については、**後日、みなと保健所の保健師から治療勧奨の連絡があります**。これらは、受診者ご本人様の同意が必要になりますので、受診の際に医療機関にて「港区肝炎ウイルス検診受診票兼結果報告書」の問診欄に署名をしていただくことになります。検診内容を上記の目的以外で使用することはありません。

その他検診（検査）

肝炎ウイルス検診 通年実施医療機関名簿(令和8年3月31日まで)

医療機関名	所在地	電話番号	英語対応
日比谷川畑診療室	西新橋 1-3-1 西新橋スクエア 3F	03-3502-5711	
国際医療福祉大学三田病院 International University of Health and Welfare Mita Hospital	三田 1-4-3	03-3451-8121	○
三田国際ビルクリニック Mita International Building Clinic	三田 1-4-28 三田国際ビル 3F	03-3454-8614	○
東京都済生会中央病院	三田 1-4-17	03-3451-8211	
六本木ヒルズクリニック ROPPONGI HILLS CLINIC	六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー 6F	03-3796-0066	○
西麻布ライフケアクリニック	西麻布 4-4-3 フリーディオ西麻布 1F	03-3797-1717	
麻布医院 Azabu Clinic	麻布十番 1-11-1 エスティメゾン麻布十番 3F	03-5545-8177	○
中村麻布十番クリニック Nakamura Azabujuban Clinic	麻布十番 2-2-10 麻布十番スクエア 2F	03-5419-7300	○
湊メディカルクリニック Minato Medical Clinic	赤坂 2-11-3 福田ビルウエスト 2F	03-5570-5888	○
ふなきクリニック Funaki Clinic	赤坂 3-15-9 萬屋ビル 5F	03-3505-0300	○
赤坂虎の門クリニック Akasaka Toranomom Clinic	赤坂 1-8-1 赤坂インターシティ AIR B1	03-3583-8080	○
赤坂山王メディカルセンター	赤坂 4-1-26 国際医療福祉大学 赤坂キャンパス W 棟	03-5114-6631	
東京ミッドタウンクリニック Tokyo Midtown Clinic	赤坂 9-7-1 ミッドタウンタワー 6F	03-5413-7623	○
東京高輪病院 Tokyo Takanawa Hospital	高輪 3-10-11	03-3443-9191 03-3443-9555 (予約専用)	○
城南高輪クリニック	高輪 3-5-20 グランドメゾン高輪台 1F	03-3441-0435	
北里大学北里研究所病院 Kitasato Institute Hospital	白金 5-9-1	03-3444-6161	○
東京大学医科学研究所附属病院	白金台 4-6-1	03-5449-5560	
ワールド・シティ益子クリニック	港南 4-6-7 キャピタルタワー 3F	03-5783-0331	

その他検診(検査)

受診のステップ

1

別紙医療機関名簿で受診する項目等を確認

地区ごとに住所地順で並んでいます。



2

医療機関に**直接予約**

予約方法は医療機関名簿に記載しています。



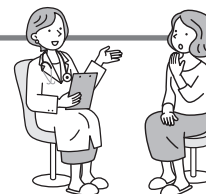
3

受診 持ち物：受診券と、①健康保険証、②マイナ保険証、③資格確認書のうち一つ（お持ちでない方は不要です。）
受診前に受診票の記載をします。



4

結果説明（あらかじめ結果説明日の予約をしてください。）
医師から直接結果説明を受けます。



その他検診（検査）

注意事項

- ・ 受診期間を過ぎると受診券は使用できませんので、お早めにご受診してください。
- ・ 受診日当日時点で港区外に転出されている場合は、受診券は使用できません。転出先の自治体へお問い合わせください。
- ・ 医療機関によっては、健診（検診）の定員や実施期間の限定を設けている場合がありますので、あらかじめご了承ください。また受診期間終了間際は、予約が取れないこともございますので余裕をもったご予約をお願いします。
- ・ 予約時のトラブルが増えています。区では予約のトラブルに関しての調整や仲介は行っていないため、予約の不明な点は必ず予約時に受診者本人が医療機関にご確認してください。
- ・ 健診（検診）自体は無料ですが、指定された検査以外の検査、診療情報提供書の発行、精密検査・治療を実施した場合などについては、別途費用がかかります。医師の判断により保険適用となる場合もございますので、請求金額の内訳等につきましては、当該医療機関にご確認してください。

港区で実施している健診(検診)一覧

※令和8年3月31日時点の年齢です。

種 類	健診(検診)名	対象者	期 間	内 容	備 考
健康診査	特定健康診査	令和7年4月1日までに港区国民健康保険に加入している40歳～75歳未満(※)の方(4月2日以降の国保加入者は基本健康診査対象となります。) ※受診日に75歳の誕生日を迎えている方は、基本健康診査の対象になります。		問診・診察・身体計測・血圧測定・尿検査・血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査・心電図・眼底検査・胸部エックス線検査等	健診の結果により特定保健指導の対象となった方には2～3か月後に個別通知します。
	微量アルブミン尿検査	特定健康診査対象かつ令和6年度港区特定健康診査で、検査結果がHbA1c6.5%以上かつ尿蛋白定性(－)または(±)の方		尿検査	検査の結果、専門医療機関で精密検査を受診し、保健指導が必要となった方は、無料で保健指導を受けることができます。
	基本健康診査	令和7年4月2日以降に港区国民健康保険に加入した40歳～75歳未満の方 港区の後期高齢者医療制度に加入している方 生活保護を受けている方など	7月～11月	問診・診察・身体計測・血圧測定・尿検査・血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査・心電図・眼底検査・胸部エックス線検査等	
	生活機能評価	特定健康診査・基本健康診査対象者の65歳以上の方(介護保険の要介護・要支援認定の方は該当しません。)		問診	集合契約Bの特定健診対象者は受診できます。
	区民健康診査	16歳～39歳の方		問診・診察・身体計測・血圧測定・尿検査・血中脂質検査・肝機能検査・血糖検査・心電図・眼底検査・胸部エックス線検査等	
その他の検診(検査)	骨粗しょう症検診	40・45・50・55・60・65・70歳の女性	7月～1月	問診・骨密度測定(DXA法・MD法)	
	肝炎ウイルス検診	20歳以上で港区肝炎ウイルス検診を今までに受診したことのない方	7月～1月(通年)	問診・採血	通年で実施している医療機関は14ページの表のとおり。
	聴力検査	60・65・70・75歳の方	7月～1月	問診・簡易聴力検査	

認知症セルフチェックシート健診は港区医師会による実施となります。

種 類	健診（検診）名	対象者	期 間	内 容	備 考
歯科健診	お口の健診	20歳以上 ※妊娠中の方は20歳未満でも受診できます。	前期：6月～8月 後期：11月～1月	問診、歯の診査、歯肉の診査、歯む機能（ガム）の検査、舌の汚れの検査、舌・口唇機能検査、嚥下機能検査（75歳以上のみ）、結果の説明、お口からの健康指導	寝たきりや歩行が著しく困難で通院が難しい方には、訪問で健診ができます。 受診券は別途お送りしています。
がん検診	胃がん検診 （エックス線検査）	40歳以上	7月～1月	問診・胃部エックス線検査 ※バリウム検査です。	
	胃がん検診 （内視鏡検査）	50歳以上の偶数年齢 50歳以上の偶数年齢の方は、胃部エックス線検査か 胃内視鏡検査のどちらか一方を選択できます。 （両方を受診することはできません。）		問診・胃内視鏡検査	喉・鼻の麻酔のみで鎮痛薬・鎮静薬は使用しません。
	大腸がん検診	40歳以上		問診・便潜血反応検査（2日法） ※検便検査です。	
	肺がん検診	40歳以上 喀痰検査：50歳以上で喫煙指数600以上		問診・胸部エックス線検査・（対象者は喀痰検査）	喫煙指数＝1日の喫煙本数×喫煙年数 例：20本×30年＝600
	乳がん検診	40歳以上の女性で前年度港区乳がん検診未受診の方	7月～2月	問診・マンモグラフィ検査 ※エックス線検査です。	
	子宮頸がん検診	20歳以上で前年度港区子宮がん検診未受診の方 HPV（ヒトパピローマウイルス）検査は30・33・36・39歳の方で希望者	7月～1月	問診・視診・内診・細胞診・（対象者はHPV検査）	
	喉頭がん検診	50歳以上で喫煙指数600以上の方		問診・喉頭・咽頭の診察（頸部触診、間接喉頭鏡、喉頭ファイバースコープ等）	喫煙指数＝1日の喫煙本数×喫煙年数 例：20本×30年＝600
歯科 （がん検診）	前立腺がん検診	55歳～75歳の奇数年齢の男性		問診・特異抗原検査（PSA検査） ※血液検査です。	
	口腔がん検診	40歳以上	6月～1月	問診・視診・触診・生活習慣改善指導・自己検査法	寝たきりや歩行が著しく困難で通院が難しい方には、訪問で健診ができます。 受診券は別途お送りしています。

港区で実施している
健診（検診）一覧

-18-

Other medical examinations (health checkups)

Type	Name of medical examination (health checkup)	Those eligible	Period	Content	Remarks
Dental examination	Oral medical examination	20 years old and above *Pregnant women below the age of 20 are also eligible to undergo the examination	First Period: June to August Second Period: November to January	Medical interview, dental examination, gum examination, examination of chewing function (gums), examination of tongue coating, tongue / lip function check, swallowing function test (aged 75 and older only), explanation of results, oral health guidance	For individuals who are confined to bed or individuals who face severe mobility difficulties, the examination can be carried out via a visit. The coupons will be sent separately.
Cancer screening	Stomach cancer screening (X-ray)	40 years old and above	July to January	Medical interview / stomach X-ray *This is a barium exam.	
	Stomach cancer screening (endoscopy)	Even numbered ages from 50 and above Individuals of even numbered ages from 50 and above can choose to have either an X-ray or an endoscopy. (It is not possible to undergo both)		Medical interview / gastroendoscopy	Throat / nose anesthesia only – an analgesic / sedative is not used.
	Colorectal cancer screening	40 years old and above		Medical interview / fecal occult blood test (two-day method) *This is a stool test.	
	Lung cancer screening	40 years old and above Sputum examination: 50 years old and above with a smoking index of 600 or higher		Medical interview / chest X-ray / (sputum examination for those eligible)	Smoking index = number of cigarettes smoked per day x number of years smoking Example: 20 cigarettes x 30 years = 600
	Breast cancer screening	Women aged 40 and older who are yet to undergo the FY2024 Minato City breast cancer screening.	July to February	Medical interview / mammogram *This is an X-ray.	
	Cervical cancer screening	Women aged 20 and older who are yet to undergo the FY2024 Minato City cervical cancer screening The HPV (human papillomavirus) test is for individuals aged 30 / 33 / 36 / 39 eligible for cytodiagnosis	July to January	Medical interview / visual examination / pelvic examination / cytodiagnosis (HPV test for those eligible)	
	Laryngeal cancer screening	Individuals aged 50 and above with a smoking index of 600 or higher		Medical interview / examination of larynx / pharynx (neck palpation, indirect laryngoscopy, laryngeal fiberscope etc.)	Smoking index = number of cigarettes smoked per day x number of years smoking Example: 20 cigarettes x 30 years = 600
	Prostate cancer screening	Males of odd numbered ages between 55 and 75		Medical interview / prostate specific antigen test (PSA test) *This is a blood test	
Dental (cancer screening)	Oral cancer screening	40 years old and above	June to January	Medical interview / visual examination / palpation / guidance on lifestyle modification / self-checking methods	For individuals who are confined to bed or individuals who face severe mobility difficulties, the examination can be carried out via a visit. The coupons will be sent separately.

港区で実施している
健診(検診)一覧

미나토구에서 실시하고 있는 검진 일람

※2026년 3월 31일 시점의 연령입니다.

종류	검진명	대상자	기간	내용	비고
건강 검진	특정 건강 검진	2025년 4월 1일까지 미나토구 국민건강보험에 가입되어 있는 만40세~만75세미만(※)인 분(4월 2일 이후의 국민건강보험 가입자는 기본 건강 검진 대상입니다) ※진료일에 만75세 생일이거나 생일이 지나신 분은 기본 건강 검진 대상입니다.	7월 ~ 11월	문진·진찰·신체검사·혈압 측정·소변 검사·혈중 지질 검사·간기능 검사·혈당 검사 의사의 소견상 필요하다 판단되는 분은 빈혈 검사·심전도·안저 검사·흉부 X선 검사 등	검진 결과에 따라 특정보건지도의 대상자가 되신 분에게는 2~3개월 후에 개별로 통지합니다. 피용자 보험(건강보험·공제 등)에 가입한 피부양자인 분은 특정 검진을 받을 수 있는 제도가 있습니다(집합계약B).
	미량알부민 소변 검사	특정 건강 검진 대상인 동시에 2024년도 미나토구 특정 건강 검진에서 검사 결과가 HbA1c6.5% 이상 및 단백뇨 양성검사 결과가(-) 또는 (+)인 분		소변 검사	검사 결과 전문 의료 기관에서 정밀 검사가 필요하다고 판단된 분, 보건지도가 필요하다 판단된 분은 무료로 생활 습관 개선을 위한 보건지도를 받을 수 있습니다.
	기본 건강 검진	·2025년 4월 2일 이후에 미나토구 국민건강보험에 가입한 만40세~만75세미만인 분 ·미나토구 후기 고령자 의료 제도에 가입되어 있으신 분 ·생활 보호를 받고 계신 분 등		문진·진찰·신체검사·혈압 측정·소변 검사·혈중 지질 검사·간기능 검사·혈당 검사 의사의 소견상 필요하다 판단되는 분은 빈혈 검사·심전도·안저 검사·흉부 X선 검사 등	
	생활 기능 평가	특정 검진·기본 검진 대상자인 만65세 이상인 분 (개호 보험의 요개호·요지원의 인정을 받으신 분은 해당하지 않습니다.)		문진	집합계약B의 특정 검진 대상자는 받으실 수 있습니다.
	구민 건강 검진	만16세~만39세인 분		문진·진찰·신체검사·혈압 측정·소변 검사·혈중 지질 검사·간기능 검사·혈당 검사 의사의 소견상 필요하다 판단되는 분은 빈혈 검사·심전도·안저 검사·흉부 X선 검사 등	
그 외 검진 (검사)	골다공증 검진	만40·45·50·55·60·65·70세의 여성	7월 ~ 1월	문진·골밀도 측정(DXA법·MD법)	
	간염 바이러스 검진	만 20세 이상 미나토구 간염 바이러스 검진을 한번도 받은 적이 없으신 분	7월 ~ 1월 (일년 내내)	문진·채혈	연간을 통해 실시하는 의료기관은 14페이지의 표를 참조하십시오.
	청력 검사	만60·65·70·75세인 분	7월 ~ 1월	문진·간이 청력 검사	

인지증 셀프 체크 시트 건강 진단은 미나토구 의사회에 의한 실시가 됩니다.

종류	검진명	대상자	기간	내용	비고
치과 검진	구강 검진	만20세 이상 ※임신 중인 분은 만20세 미만이라도 진찰받을 수 있습니다.	전기: 6월~8월 후기: 11월~1월	문진, 치아 검진, 잇몸 검진, 씹는 기능(껌) 검사, 혀 오염도 검사, 혀·입술 기능 검사, 연하 기능 검사(만75세 이상만), 결과 설명, 구강으로부터의 건강 지도	거동하지 못하거나 보행이 현저히 어려워 통원하기 힘든 분에게는 방문하여 검진해 드립니다. 진찰권은 별도로 보내드립니다.
	위암 검진(X선 검사)	만40세 이상	7월~1월	문진·위부 X선 검사 ※바륨 검사입니다.	
암 검진	위암 검진(내시경 검사)	만50세 이상의 짝수 연령 만50세 이상의 짝수 연령이신 분은 위부 X선 검사 혹은 위내시경 검사 중 하나를 선택하실 수 있습니다. (두 가지 방법을 다 선택하실 수는 없습니다)		문진·위내시경 검사	목·코 마취만 하며 진통제·진정제는 사용하지 않습니다.
	대장암 검진	만40세 이상		문진·대변 잠혈 반응 검사(2일법) ※대변 검사입니다.	
	폐암 검진	만40세 이상 객담 검사: 만50세 이상으로 흡연 지수 600 이상		문진·흉부 X선 검사·(대상자는 객담 검사)	흡연 지수=1일 흡연 개비 수×흡연 횟수 예: 20개비×30년=600
	유방암 검진	만40세 이상의 여성으로 2024년도 미나토구 유방암 검진을 받지 않으신 분.		문진·매모그래피 검사 ※X선 검사입니다.	
	자궁경부암 검진	만20세 이상으로 2024년도 미나토구 자궁암 검진을 받지 않으신 분 HPV(인유두종 바이러스) 검사는 세포 검사 대상자인 만 30·33·36·39세인 분		문진·시진·내진·세포 검사·(대상자는 HPV 검사)	
치과(암 검진)	후두암 검진	만50세 이상으로 흡연 지수 600 이상인 분	7월~1월	문진·후두·인두 진찰(경부 촉진, 간접 후두경, 후두 내시경 등)	흡연 지수=1일 흡연 개비 수×흡연 횟수 예: 20개비×30년=600
	전립선 암 검진	만55세~만75세의 흡수 연령인 남성		문진·특이 항원 검사(PSA 검사) ※혈액 검사입니다.	
	구강암 검진	만40세 이상	6월~1월	문진·시진·촉진·생활 습관 개신 지도·자검 방법	거동하지 못하거나 보행이 현저히 어려워 통원하기 힘든 분에게는 방문하여 검진해 드립니다. 진찰권은 별도로 보내드립니다.

港區體檢(檢查)項目實施一覽表

※所示年齡為截至2026年3月31日的年齡。

類型	檢查名稱	實施對象	時期	檢查內容	備註
體檢	特定體檢	2025年4月1日之前加入港區國民健康保險的40歲~75歲未滿(※)居民(4月2日以後加入國民健康保險的居民屬於“基本體檢”的實施對象) ※體檢當日迎來75歲生日的居民,屬於“基本體檢”的實施對象。	7月~11月	問診、診察、身高體重、測量血壓、尿液檢查、血脂檢查、肝機能檢查、血糖檢查 根據醫生的要求,接受貧血檢查、心电图檢查、眼底檢查、胸部X光檢查等	體檢2~3個月後,根據體檢結果,對需要特定保健指導的居民單獨發送通知。 加入被用者保險(健保、共濟等)的被扶養者也有資格接受特定體檢(集體協議B)。
	尿微量白蛋白檢查	屬於特定體檢的實施對象,並在2024年度港區特定體檢中血糖HbA1c值達6.5%以上,且尿蛋白呈陰性(一)或弱陽性(±)的居民		尿液檢查	經本項檢查及專業醫療機構的精密檢查而得到核對後,確認需要保健指導的居民,可免費接受關於改善生活習慣的保健指導。
	基本體檢	• 2025年4月2日以後加入港區國民健康保險的40歲~75歲未滿居民 • 加入港區後期高齡者醫療制度的居民 • 接受生活保護的居民等		問診、診察、身高體重、測量血壓、尿液檢查、血脂檢查、肝機能檢查、血糖檢查 根據醫生的要求,接受貧血檢查、心电图檢查、眼底檢查、胸部X光檢查等	
	生活功能評估	屬於特定體檢或基本體檢實施對象的65歲以上居民(已接受護理保險,且認定為需護理・需支援的居民不在此範圍。)		問診	同樣適用於根據集體協議B接受特定體檢的居民。
	區民體檢	16歲~39歲的居民		問診、診察、身高體重、測量血壓、尿液檢查、血脂檢查、肝機能檢查、血糖檢查 根據醫生的要求,接受貧血檢查、心电图檢查、眼底檢查、胸部X光檢查等	
其他檢查	骨質疏松症檢查	40・45・50・55・60・65・70歲的女性	7月~1月	問診、檢測骨密度(DXA法・MD法)	
	肝炎病毒檢查	20歲以上從未在港區接受過肝炎病毒檢查的居民	7月~1月 (全年)	問診、採血	第14頁提到了全年實施這一計劃的醫療機構。
	听力檢查	60・65・70・75歲的居民	7月~1月	問診、簡易听力測試	
	痴呆症自我檢查表體檢由港區医学会進行。				

- 港区医師会のホームページでは、医療機関の情報がご覧になれます。また、胃がんリスク検診などの独自検診を港区の健診（検診）と併わせて実施しておりますので、詳しくは港区医師会ホームページをご覧ください。



○ 個人情報の取扱いに関するお知らせ

港区が実施している健康診査・がん検診等は、港区医師会とところとからだの元気プラザに委託して行っています。受診に必要な受診票などの書類は、各医療機関に置いてあります。受診票などの書類は、複写式になっており、それぞれ次のように取り扱っています。

保健指導の対象となった場合には、生活習慣改善に向けたプログラム作成のため、港区が保健指導を委託する業者（株式会社 ウェルクル）に健診結果が提供されます。委託業者からは保健指導の利用勧奨のため、連絡することがあります。

- ・「区提出用」の書類は、検診終了後、港区医師会を通じて港区に送付され、5年間保存されます。
- ・「医療機関用」の書類は、検診終了後、各医療機関で保存されます。
- ・「受診者用」の書類は、検診終了後、結果説明等を行い、受診者ご本人にお渡しします。

- 精密検査結果の区または区からの委託を受けた検診実施医療機関への提供については、がん検診の精度管理向上の観点から個人情報保護法の例外事項として認められています。

- 生活機能評価については、健診結果のデータが港区立の高齢者相談センターへも送られます。高齢者相談センターでは、健診結果に基づき、該当の方へ介護予防事業への参加をご案内するための資料として使用します。

- 健康診査・がん検診等の結果はデータ化され、健康推進課において適正に管理され、委託料算出や統計資料作成、健康増進事業の根拠となります。「区提出用」、「医療機関用」の受診票や質問票は、ご記入いただいた内容や健診（検診）結果について、上記以外の目的に使用することはありません。

[問い合わせ]

〒108-8315 東京都港区三田1丁目4番10号 みなと保健所 健康推進課 健康づくり係
電話：6400-0083 FAX：3455-4539

健診（検診）情報は、港区ホームページでもご覧になれます。

You can also view the Minato City Website for information about
checkups and designated medical institutions in Minato City.

<https://www.city.minato.tokyo.jp>